

環境経営レポート 2020年度版

株式会社タズミ

期間2020年4月～2021年3月

拝啓 ゴミさま

私たちに、便利で豊かな
生活を与えてくれて、
ありがとうございました。

返信

私達は、まだまだ
役に立ちたいです。
ゴミより

発行年月日: 2021年6月30日



Tazumi

環境経営方針

環境理念

タズミは、「不要になったものを、可能な限り有効活用する」という精神で、限りある資源の循環活用であるリサイクル事業を通して、社会貢献して参ります。

行動指針

タズミの事業の環境効果を良く理解し、その事業の推進を図り、事業活動における環境負荷低減を推進します。

1. 廃棄物の収集運搬、中間処理をはじめとする、各種サービスの提供を通して、廃棄物の削減、再利用、再資源化、省エネルギー活動及び節水等を推進します。
2. 二酸化炭素の排出抑制効果の高い廃棄物の燃料化事業を推進します。
又、この事業の意義や効果について、従業員・事業者・市民への周知啓蒙活動に努めます。
3. 環境に関連する法令・規制を遵守し、継続的に汚染の予防に努めます。
4. SDG's が目指す持続可能な将来の為に、目標を立て計画をして、事業を通して実現していきます。
5. 外的要因、内的要因による課題を十分に検証し、事業のチャンスとなるように目標を立て計画し改善に取り組みます。
6. 環境管理活動の目的・目標及び施策を活動計画の中で明らかにし、全従業員がそれぞれの役割に応じて、創意をもって環境管理活動を推進します。
7. 代表者による取組状況の評価と全体的な見直しの実施により、活動状況を確認し、改善及び是正を行い、施策を推進するとともに、環境マネジメントシステムの維持、並びに継続的改善に努めます。
8. 従業員に対する環境教育を計画的に実施し、環境保全に対する意識の向上に努めると共に、従業員一人ひとりが良き企業市民として行動します。
9. 環境経営方針は、すべての従業員に周知するとともに、環境活動レポートやホームページを通じて、社外にも公開します。

2020年 4月 1日

神奈川県綾瀬市吉岡709

株式会社 タズミ

代表取締役 田墨幸一郎

目次	頁
1. 組織の概要	1 - 7
2. 処理・リサイクルの実績	8
3. 環境経営目標	
3. 1 中期環境経営目標計画、2020年度活動実績	9
3. 2 中期環境経営活動目標（3か年）、2020年度目標と実績、 次年度以降の目標値	10
4. 環境活動計画	
4. 1 環境活動計画（2020年度取組表）	11
4. 2 2020年度各部門による活動実績	12
5. 環境測定の実施結果の記録	13
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	14
7. 取組結果とその評価、及び次年度の取組内容	15
8. 「プラターンの森計画」実績報告	16
9. その他、活動実績資料	
9. 1 各部門 防災訓練	17-18
9. 2 各部門 教育訓練	19-20
9. 3 廃棄物処理委託先の施設見学	21
9. 4 外部環境活動の実施	22-24
10. 代表者による全体評価と見直しの結果	25

1. 組織の概要

1) 事業所名及び代表者名

- ・株式会社タズミ
- ・代表取締役 田 墨 幸 一 郎
- ・法人設立年月日 1984（昭和59）年 8月 1日

2) 認証・登録範囲（事業所）

（所在地）

- ・本社・吉岡リサイクルセンター 神奈川県綾瀬市吉岡709
- ・早川RPF工場 神奈川県綾瀬市早川2647-35
- ・早川第2工場 神奈川県綾瀬市早川2647-32
- ・早川リサイクルセンター 神奈川県綾瀬市早川2275-1
- ・プラターン海老名工場 神奈川県海老名市上郷4-2-8
- ・海老名第2工場 神奈川県海老名市上郷4丁目2710-14

3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

- ・責任者 常務取締役 田墨 啓治
- ・担当者 管理課 伊延敏和、永瀬優一
- ・連絡先 電話 0467-77-1847 FAX 0467-77-1936

4) 認証・登録対象活動

- ・可燃性廃棄物を原料とする再生固形燃料の製造及び販売
- ・産業廃棄物の収集及び運搬業務、処分業務(主に再資源化处理)
- ・一般廃棄物の収集及び運搬業務、処分業務(主に再生固形燃料化)
- ・資源リサイクル業（古紙・鉄くず・非鉄・アルミ・プラスチック・ガラス）

5) 事業の規模

- ・資本金 2,000万円
- ・事業規模を 表1 に示す

表1 事業規模

活動規模	単位	2018年度	2019年度	2020年度
		2018.4~2019.3	2019.4~2020.3	2020.4~2021.3
売上高	百万円	1,089	1,232	1,203
従業員	人	60	64	64
延べ床面積	m ²	7,999	7,999	7,999
工場床面積	m ²	4,233	4,233	4,233
受入廃棄物保管量	m ³	2,562	2,562	2,562
処理後物保管量	m ³	1,553	1,745	1,745

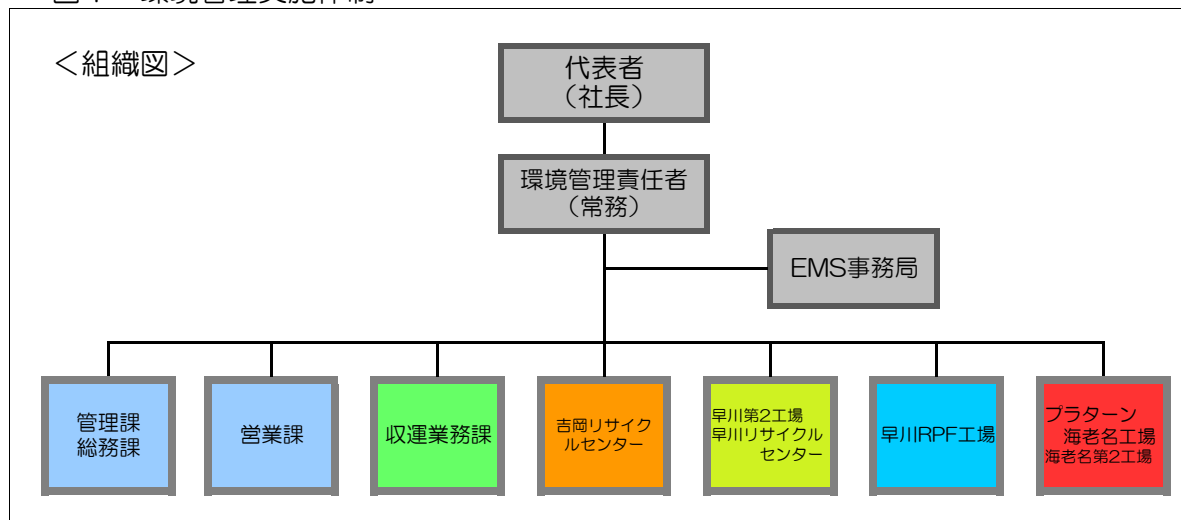
1. 組織の概要

6) 組織図

組織図を図1に示す。

図1 環境管理実施体制

2021年6月30日現在



環境経営システムに関する責任・権限は表2に示す。

表2 環境経営システムに関する責任・権限

環境経営システムに関する責任・権限	
代表者 (社長)	1. 環境管理責任者の任命 2. 環境方針の策定 3. 環境経営システム実施及び官吏に必要な資源の準備 4. 環境経営システムの定期的な見直しの実施 5. 社内情報の外部公開可否決定
環境管理責任者 (常務)	1. 環境経営システムの確立、実施及び維持するための処置 2. 社長に対し、環境経営システムの実績報告 3. 環境経営システムの教育・訓練の計画・実施の責任者 4. 外部からの環境に関する苦情や要望の受付窓口
EMS事務局	1. 環境管理責任者の補佐、EMS推進事務局 2. 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 3. 環境目標、環境活動計画書原案の作成 4. 環境活動の実績集計、環境関連法規等取りまとめ表の作成 5. 環境活動レポートの作成
各部門長	1. 環境活動の計画・実施の部門責任者 2. 改善活動の推進
一般従業員	1. 環境活動計画に基づいた環境活動及び業務改善活動の推進

1. 組織の概要

7) 廃棄物処分業に関する許可内容一覧

- ・産業廃棄物処分業、一般廃棄物処分業許可内容は表3・4に示す。

表3 許可番号（廃棄物の種類）

■は優良産廃処理業者認定制度で優良認定を取得した自治体

許可内容	許可自治体	許可番号	許可年月 許可有効年月日	廃棄物の種類																特別産業廃棄物 （燃やすための処分するもの）	一般廃棄物（ごみ）
				燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	鉱さい	がれき類	ばいじん		
処分業	産業廃棄物	神奈川県 01422023601	H28年5月07日	吉岡					○	○	○	○	○	○	○	○		○			
				早川					○	○	○	○	○	○	○	○					
				早川第2					○	○	○	○			○	○		○			
			H35年5月06日	海老名					○	○	○	○			○	○					
				海老名第2					○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	一般廃棄物	海老名市	指令第 環16号	令和3年04月01日																	○
				令和5年03月31日																	
	綾瀬市	指令リ第54号	令和3年07月03日																		○
			令和5年07月03日																		

表4 各事業所の許可内容

事業の区分	中間処理（破碎、機械選別、切断、減容固化、圧縮）
中間処理施設	早川RPF工場 神奈川県綾瀬市早川2647-35
	①破碎施設 処理能力 30.72 t/日（16h）：15.36 t/日（16h×2基）
	②減容固化施設 処理能力 32t/日（16h）：16t/日（16h×2基）
保管施設	合計保管面積/保管容量 417.7㎡/880.9㎡
中間処理施設	吉岡リサイクルセンター 神奈川県綾瀬市吉岡709番地
	③破碎施設 処理能力 3.9t/日（8h）、木くずの場合4.9t/日（8h）
	④機械選別施設 処理能力 50t/日（10h）
保管施設	⑤切断施設 処理能力 30t/日（10h）、10t/日（10h）×3基
	合計保管面積/保管容量 1038.0㎡/1202.6㎡
中間処理施設	プラターン海老名工場 神奈川県海老名市上郷4-2781-14
	⑥選別施設 処理能力 72t/日（16h）
	⑦破碎施設 処理能力 72t/日（24h）
保管施設	⑧減容固化施設 処理能力 72t/日（24h）：36t/日（24h）×2基
	合計保管面積/保管容量 463.5㎡/1592.6㎡
中間処理施設	海老名第2工場 神奈川県海老名市上郷4-2710-14
	⑨機械選別施設 処理能力 48t/日（16h）
	⑩圧縮施設 処理能力 54t/日（16h）
保管施設	合計保管面積/保管容量 182.0㎡/269.3㎡
中間処理施設	早川第2工場 神奈川県綾瀬市早川2647-32
	⑪機械選別施設 処理能力 138t/日（16h）
	⑫切断施設 処理能力 43t/日（16h）
保管施設	合計保管面積/保管容量 227.3㎡/362.3㎡

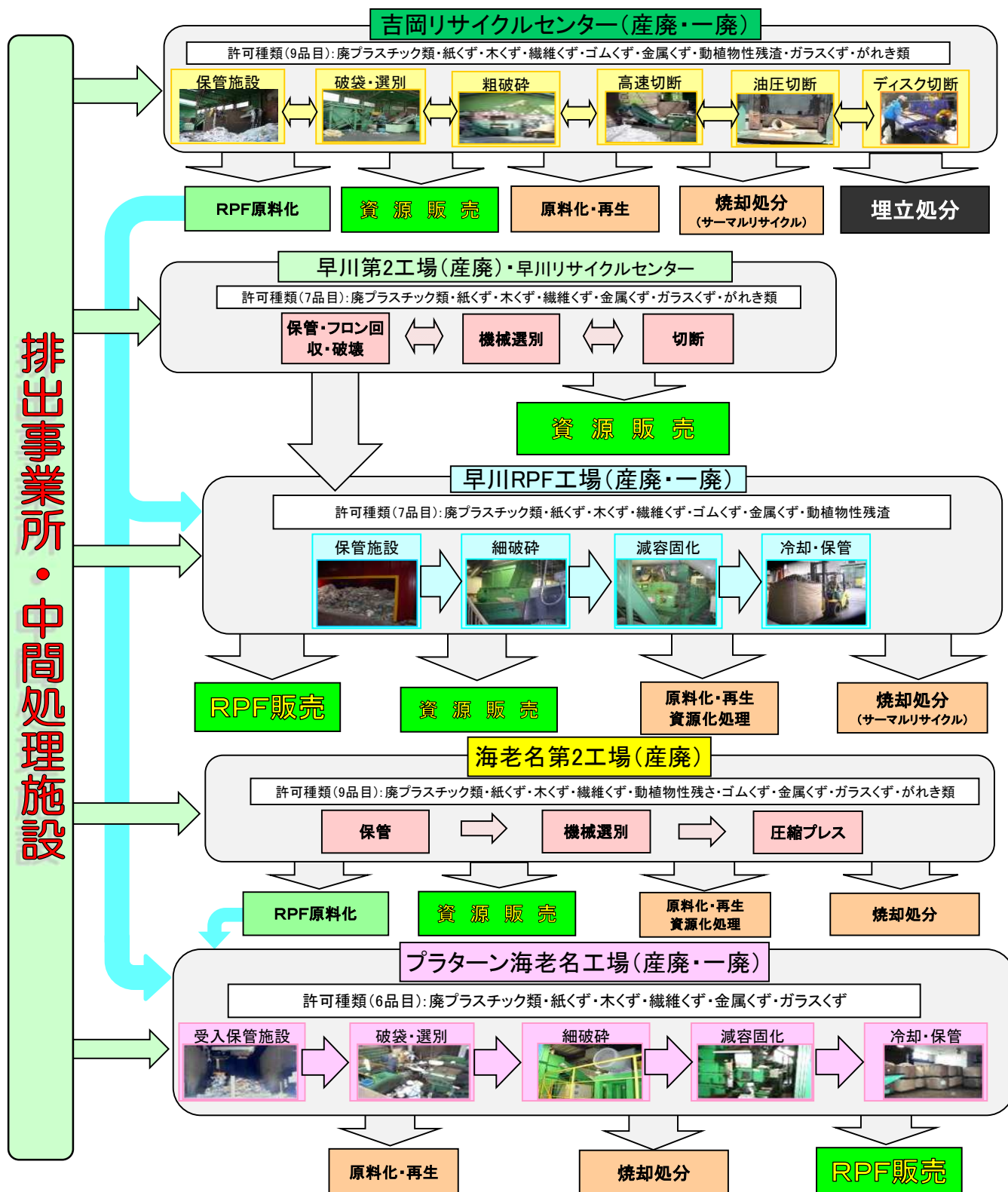
表5 事業に供する重機・荷役車両

事業所名称	エンジンフォークリフト			バッテリーフォーク	ユンボ	ショベルローダー
	1トン	2トン	3トン			
早川RPF工場		1台		1台		
吉岡リサイクルセンター		2台	1台		2台	1台
プラターン海老名工場		2台				
海老名第2工場				1台	1台	
早川第2工場		1台	1台		1台	
早川リサイクルセンター	1台					

1. 組織の概要

8) 処理フローを図2に示す。

図2 処理フロー図（社内処理関連図）



1. 組織の概要

9) 廃棄物収集運搬業に関する許可内容一覧

- 産業廃棄物収集運搬業、一般廃棄物収集運搬業許可内容は表6に示す。

表6 許可番号（廃棄物の種類）

■は優良産廃処理業者認定制度で優良認定を取得した自治体

許可内容	許可自治体	許可番号	上：許可年月 下：許可有効年月日	廃棄物の種類															特別産業廃棄物 処分するため処 分するもの	一般廃棄物（ごみ）
				燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	鉱さい	がれき類	ばいじん	
収集運搬業	産業廃棄物	茨城県	00801023601	平成28年9月28日 令和5年9月21日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		埼玉県	01100023601	平成29年5月25日 令和4年5月24日		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○		
		千葉県	01200023601	平成28年5月18日 令和5年5月17日	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○		
		東京都	13-00-023601	平成27年7月7日 令和4年7月6日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		
		神奈川県	01402023601	令和3年6月1日 令和10年5月31日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		
		静岡県	02201023601	平成29年6月27日 令和6年6月26日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		
	一般廃棄物	平塚市	収運許可 第2-29号	令和2年5月1日 令和4年4月30日																○
		藤沢市	許可第1号 86	令和2年4月1日 令和4年3月31日																○
		厚木市	指令第41号	令和2年4月1日 令和4年3月31日																○
		大和市	許可番号 第202号	令和3年4月7日 令和4年3月31日																○
		海老名市	指令第 環28号	令和2年4月1日 令和4年3月31日																○
		座間市	指令資 第4-24号	令和2年4月1日 令和4年3月31日																○
		綾瀬市	指令リ第12号	令和3年7月4日 令和5年7月3日																○

- 許可の事業の区分を表7-1に、運搬車両の種類及び台数を表7-2に示す。

表7-1 事業の範囲

事業の区分	収集運搬（積替え・保管を除く） 「積替え又は保管を行なう全ての所在地及び面積並びに当該場所ごとにそれぞれ積替え又は保管を行う。産業廃棄物の種類、積替えの為の保管上限及び積上げることができる高さ」は「なし」
廃棄物の種類	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類（一般廃棄物及び詳細は3頁 表〇〇の通り）
許可の条件	なし

表7-2 運搬車両

④車両の種類「〇トン車」は積載重量ではありません。

令和3年6月末時点

車両の種類	トレーラー車	大型車	中型車	3・4トン車	2・3トン車	軽・小型車	合計
コンテナ脱着（ローダー）車		2台	2台	4台			29台
塵芥（パッカー）車				8台			
平ボディ車			2台	2台	4台		
ダンプ車		1台					
バン					1台	2台	
トラクタ+セミトレーラ	1台						

1. 組織の概要

10) 廃棄物収集運搬車両の環境性能の状況

- ・導入車両の、排出ガスについては表8に、燃費については表9に示す。

表8 廃棄物収集運搬車に係る低排出ガス車の導入状況

収集運搬車の排ガスレベル		台数（比率） R3年4月末時点		【参考】台数（比率） H23年4月時点	
全保有台数		29台	(100%)	19台	(100%)
①平成15年規制適合車		1台	(3%)	1台	(5%)
②平成17年規制適合車		2台	(7%)	4台	(21%)
③平成17年基準低排出ガス車50%低減 ☆☆☆		1台	(3%)	0台	(0%)
④平成17年基準低排出ガス車 ☆☆☆☆		0台	(0%)	0台	(0%)
⑤平成17年基準低排出ガス（PM10%低減）重量車 ☆		2台	(7%)	2台	(11%)
⑥平成17年基準低排出ガス（Nox及びPM10%低減）重量車 ★		0台	(0%)	1台	(5%)
⑦平成19年規制適合車		1台	(3%)	0台	(0%)
⑧平成22年（ポスト新長期）排出ガス車		4台	(14%)	0台	(0%)
⑨平成21年基準低排出ガス車10%低減☆☆☆		3台	(10%)	0台	(0%)
⑩平成22年基準低排出ガス車10%低減		9台	(31%)	0台	(0%)
⑪平成28年規制適合		6台	(21%)	0台	(0%)
低排出ガス車以外の車両		0台	(0%)	11台	(58%)

表9 廃棄物収集運搬車に係る低燃費車の導入状況

収集運搬車の燃費低減レベル		台数（比率） R3年4月末時点		【参考】台数（比率） H23年4月時点	
全保有台数		29台	(100%)	19台	(100%)
平成22年度燃費基準達成車	① —	0台	(0%)	1台	(5%)
	②5%低減レベル	0台	(0%)	0台	(0%)
	③10%低減レベル	0台	(0%)	0台	(0%)
	④15%低減レベル	0台	(0%)	0台	(0%)
	⑤25%低減レベル	0台	(0%)	0台	(0%)
平成27年度燃費基準達成車	⑥ —	19台	(65.5%)	2台	(11%)
	⑦ 5%低減レベル	6台	(20.7%)	0台	(0%)
	⑧10%低減レベル	2台	(6.9%)	0台	(0%)
低燃費基準達成車以外の車両		2台	(6.9%)	16台	(84%)

* 低燃費基準達成車以外の車両については導入してから15年以上メンテナンスを行いながら大事に使用しています。

* 21年度に新しい車両を導入し、入替する予定です。

1. 組織の概要

11) 処分業許可の状況

種類別処理フローを図3に示す。

排出事業者から処理を受託した様々な廃棄物は、お客様の要望を踏まえ、再生資源化・燃料化を行っています。処理の出来ないものに関しては、環境負荷の少ない方法で外部委託処理を行なっています。

図3 種類別処理フロー図



2. 処理・リサイクル実績

受託廃棄物の処理量と資源リサイクル量を表10に示す。

表10 受託廃棄物の処理量 及び資源リサイクル量

(単位：t)

廃棄物の種類		処分方法	2018年度	2019年度	2020年度	
収集運搬量	一般廃棄物収集運搬量		2,857	1,990	1,565	
	産業廃棄物収集運搬量		6,883	7,806	6,682	
	収集運搬合計		9,740	9,796	8,247	
中間処理 処分量	一般廃棄物処分量	固形燃料化・選別	3,875	3,005	2,087	
	産業廃棄物処分量	機械選別・破碎 ・減容固化	14,124	16,135	14,176	
	処分量合計		17,999	19,140	16,263	
	再資源化	再生固形燃料出荷量	固形燃料化量	12,879	14,088	11,938
		古紙出荷量	機械選別/再資源化	5	4	4
		鉄・非鉄原料出荷量	機械選別/再資源化	917	1,130	979
		木チップ原料出荷量	機械選別/再資源化	23	87	31
		プラスチック出荷量	機械選別/再資源化	94	369	15
		再資源化合計		13,918	15,678	12,966
資源リサイクル量	古紙類（処理後再生分含む）		2,073	2,020	1,597	
	鉄原料（処理後再生分含む）		1,573	1,652	1,093	
	非鉄原料（処理後再生分含む）		585	751	856	
	ガラス原料（処理後再生分含む）		17	32	49	
	再生プラスチック原料（処理後再生分含む）		137	145	74	
コメント		2020年度は、コロナウィルス感染症拡大の伴って、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の発令とつづき廃棄物の発生量が少なくなる中で、収集運搬量、処分量ともに停滞しました。そうした中において、非鉄関連部門では、処分業許可を活かして、売買が困難となっている下級グレード品の扱いを増加させることができました。				



3. 環境経営目標

3.1 中期環境経営目標計画、2020年度活動実績

2019年度を基準値として新たな中期環境経営目標計画は、環境負荷の少ない燃料化事業を推進することと、事業活動に伴う温暖化ガス排出抑制を行い、リサイクル事業を推進します。

項目				基準値 2019年度	2020年度			2021年度	2022年度
					目標	実績	評価	目標	目標
1	受託可燃廃棄物中の 焼却委託比率 ◇目標 0.9%削減	可燃ごみ受託量	t	16,344	-	13,912	○	-	-
		焼却委託量	t	1,703	-	1,394		-	-
		焼却比率	%	10.4	10.1	10.0		9.8	9.5
2	化石燃料由来の 二酸化炭素排出量 (廃棄物運搬量1t当たり 排出量) ◇目標 3%削減	化石燃料由来 (収集運搬)	kg-CO ₂	179,527	-	165,864	△	-	-
		収集運搬量 (一廃・産廃)	t	9,796	-	8,260		-	-
		CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /t	18.3	18.1	20.1		17.9	17.7
3	電力由来の 二酸化炭素排出量 (RPF生産1t当たり) ◇目標 3%削減 注1) (排出係数を0.442変更)	電力由来	kg-CO ₂	1,144,772	-	982,410	○	-	-
		再生固形燃料 プラターン生産量	t	14,412	-	12,406		-	-
		CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /t	79.4	78.6	79.2		77.8	77.0
4	自社排出廃棄物の 焼却処分量 ◇目標 9%削減	自社廃棄物総量	kg	1,441	-	1,530	○	-	-
		自社焼却向け 排出量	kg	77.0	75.0	50.7		72	70

以下の4項目は、環境マネジメントシステムの要求事項に
目標設定は行わない。ただし、環境影響度合いの高い重要項目であるため、
監視項目として変化を確認し、必要があれば都度対策を実施するものとする。

監視3項目		2020年度から2022年度まで	2020年度実績
1	事務用品購入費のグリーン購入（環境負荷の少ない）を促進する	事務用品は、購買ルールを順守し、購入サイトwebページ上からの購入励行。月次で購入比率を確認します。	今年度もルール通りに運用でき、グリーン購入化率も維持出来た。
2	再生固形燃料 プラターンを生産量： 15,000 t /年を目指す。	安定した生産体制を維持し、燃料化への取り組みを全社取り組みとして計画する。処理体制の整備、具体的な増量案件の積上げ等、諸策を講じていく。エコアクション21の年度計画とはしない。	コロナウィルス感染防止による緊急事態宣言の発出などの影響で、原料となる可燃ごみの排出量が減る傾向となりましたが、処理困難物である量の受入れ拡充などの努力の結果、プラターンを12,406 t 生産することが出来ました。
3	水：上水使用量を監視する	各部門とも前年度実績を踏まえ、定期的に使用量を確認し、異常が認められた場合は原因を突き止め、逐次対策を講じる	工場側の生産能力が上がり、生産量当りの使用量が減りました。メンテナンス清掃時に使用量に配慮しながら削減につなげました。
4	化学物質：排出量を把握する	購入塗料等に含まれるVOCの量を把握する	設備補修用として錆止め塗料など購入しました。

3. 環境経営目標

3.2 中期環境経営活動目標（3か年）、2020年度目標と実績、次年度以降の目標値

受託可燃廃棄物の焼却委託比率 ※目標 0.9 %削減

項目			年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
可燃混合物からのRPF原料化、サーマル焼却向け選別の徹底。 処理方法を活かしたRPF原料調達への取組み強化を実行する。							
1	中間処理物受託量	t		19,138	16,041		
	可燃ごみ受託量	t		16,344	13,912		
	焼却委託量	t		1,703	1,394		
	焼却比率	%		10.4%	10.0%		
	目標	%		10.4%	10.1%	9.8%	9.5%



化石燃料由来の二酸化炭素排出量（廃棄物運搬量1t当たり排出量） ※目標 3 %削減

項目			年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
回収効率を上げるべく、ルートの見直し、回収頻度の見直し、回収車両の見直し（新車導入を含む）等、配車方法の改善を含めて検討します。							
2	化石燃料由来（収集運搬）	kg-CO ₂		179,527	165,864		
	CO ₂ 排出量（運搬1t当たり）	kg-CO ₂ /t		18.3	20.1		
	目標	kg-CO ₂ /t		18.3	18.1	17.9	17.7



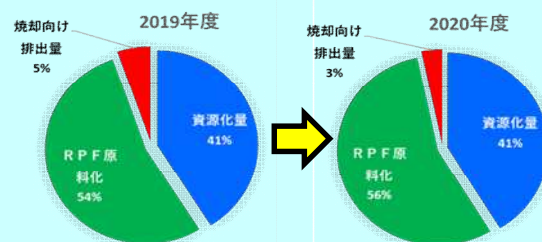
電力由来の二酸化炭素排出量（RPF生産1t当たり） ※目標 3 %削減

項目			年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
地球環境保全の為、可燃ごみの再生固形燃料（RPF）を推進する中で製造時のCO ₂ の排出量も最小限化すること” 全社で取り組みます。							
3	電力由来	kg-CO ₂		1,144,772	982,410		
	CO ₂ 排出量（RPF1t当たり）	kg-CO ₂ /t		79.4	79.2		
	目標	kg-CO ₂ /t		79.4	78.6	77.8	77.0



自社焼却向け廃棄物排出量 ※目標 9 %削減

項目			年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事務所から出る自社ゴミは、分別を徹底し、再生資源化を原則とする。 可燃ごみは、RPF化原料とし、生ごみなど処分の必要なものに限って焼却処分とする。							
4	自社廃棄物総量	kg		1,441.0	1,529.5		
	資源化量	kg		592.5	631.6		
	RPF原料化	kg		771.5	847.2		
	焼却向け排出量	kg		77.0	50.7		
	目標	kg		77.0	75.0	72.4	70.0



4. 環境活動計画

4.1 環境活動計画（2020年度取組表）を表11に示す。

表11 環境活動計画

活動項目	管理及び実施項目	推進部門 ^{注1)}							評価/確認方法
		営業・管理課	運搬業務課	古岡Rセンター	早川R第2工場	早川RPF工場	海老名第2工場	PT老名工場	
受託可燃廃棄物中の焼却委託比率の低減	作業手順・段取りの見直しによる選別作業効率の改善			◎		○	○		案毎に手順・段取りを検討・実施。月単位で燃料化率の変化で確認
	工場部門との連携による燃料化比率の向上	◎	○	◎	◎	◎	○		案毎に工場側に選別品の検証を要請し、結果を確認。不具合は都度対策を取る。
化石燃料由来のCO ₂ 排出量比の低減	車両・重機類の日常・定期点検の実施	○	◎	◎	◎	○	○		日常・定期点検を計画を立て実施。結果を点検計画に反映
	エコドライブの推進と実績の監視	○	◎	◎	◎	○	○		過度な負荷の配車をせずに、エコドライブを励行。月・車両毎の燃費を確認。
	車両・重機類の効率的な燃料使用の励行	○	○	○	○	○	○		エコ操作の励行、月・重機ごとの燃費を確認
	高環境性能車両への更新	◎	◎		◎				車両入替時に新型車両を導入（中古等車両は導入しない）
電力由来のCO ₂ 排出量比の低減	設備・機械の日常・定期点検の実施			○	○	◎	◎		日常・定期点検を計画を立て実施。結果を点検計画に反映
	デマンド監視と効率の良い作業の実践					◎	◎		処理物の状態等にあわせ効率作業を励行。結果は日/月次の作業効率・生産性で確認
自社廃棄物排出量の低減	分別排出の実施と監視	○	○	○	○	○	○	◎	焼却向け排出物の内容物の検証とフィードバックに分別精度の向上
グリーン購入の推進	SMS導入による電子マニフェスト推進(紙マニフェスト購入件数の削減・事務作業軽減)	◎						○	紙マニフェストの年間購入量を確認
	購買ルール運用の順守・実践							◎	購入サイトwebページ上からの購入励行。月次で購入比率を確認。

注1) ◎ 主管部門、○ 活動として取り組む部門

4. 環境活動計画

4.2 2020年度各部門による活動実績

受託可燃廃棄物の焼却比率の削減

吉岡リサイクルセンター

夕刻終礼時に、翌日入荷先について予め業務内容を検討周知を徹底し、効率よく資源化への取組みができるようになりました。

吉岡リサイクルセンター	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
搬入量（総量）	6,640.87	7,012.50	6,812.69	6,932.91	6,176.74
RPF原料 出荷量	3,469.16	3,566.74	3,484.96	3,818.44	3,489.44
産廃 焼却処分量	1,858.07	1,675.51	1,913.29	1,684.30	1,407.78
産廃 焼却比率	28%	24%	28%	24%	23%



早川第2工場、早川工場

今期は、隣り合わせの工場でシナジー（相乗効果）を出せるように産廃物の受入を増やし、仕分け解体作業を徹底して行うことでRPF原料化の増加に取り組み、大きな成果を得ました。早川工場では、提供されたRPF原料の品質影響を考慮し、蛍光X線分析機を活用して原料管理に取り組みました。

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
RPF原料	44,930	53,440	66,320	163,860
再生資源販売量	1,509,627	1,475,919	1,849,701	1,520,275



収運業務課

化石燃料由来の二酸化炭素排出量（廃棄物運搬量1t当たり） ※目標3%削減

コロナウィルス感染拡大の影響を受け、回収数量が減少、伴って回収回数も減り、又定期回収先は、一回当たりの数量も幾分減少しました。対策として、回収頻度の再検討、回収ルートの見直しをおこない、効率化に努めました。ドライバーは、エコドライブに努め一定の成果を得ました。

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
走行距離	246,963	249,254	279,279	297,091	278,678
燃料使用量	57,905	61,164	69,635	70,983	64,330
燃費（全車種平均）	4.3	4.1	4.0	4.2	4.3



電力由来の二酸化炭素排出量（RPF1t生産当たり） ※目標3%削減

早川工場

破碎機減速機の不具合解消に半年を要しましたが、機械への負荷を極力かけない運転制御方法について身に付ける機会となりました。今まで以上に、設備点検を強化します。

海老名工場

1月に成型機2台の入替工事をおこない、オペレーションの見直しにより、電力消費量が下がり、CO₂の発生量抑制につなげることが出来ました。引き続き効率化を推進します。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
早川工場												
電力量使用量	62,277	57,587	55,321	64,347	52,361	61,344	61,720	54,792	63,778	50,844	54,059	65,703
CO ₂ 排出量（t当たり）	69	74	74	80	77	82	73	67	70	68	71	64
海老名工場												
電力量使用量	126,918	97,518	110,540	124,406	109,128	120,081	126,197	116,297	126,274	96,181	95,155	113,037
CO ₂ 排出量（t当たり）	77	80	79	80	77	78	74	69	78	69	68	64

営業・管理・総務課

- 産廃マニフェストの電子マニフェスト化を継続推進し、7社について、タズミの利用する管理システムを導入するに至りました。後も業務効率を高めるため、IOT化へ取組みを継続的に進めて参ります。
- 各事業所から出る廃棄物は、分別を徹底し、資源化、燃料化をさらに進めることができました。P10の通りです。



5. 環境測定の実施結果の記録

- 騒音・振動測定：吉岡リサイクルセンター・早川RPF工場・プラターン海老名工場 毎年/1回実施
- 臭気測定：早川RPF工場・プラターン海老名工場 毎年/1回実施



2020年度 環境測定記録・結果

吉岡リサイクルセンター 騒音・振動			破碎施設		高速切断施設		油圧切断施設	
			前期	今期	前期	今期	前期	今期
2020/6/5実施	騒音規制値	55 dB	49	47	55	49	52	47
	振動規制値	65 dB	30	30	47	45	51	50

早川RPF工場 騒音・振動			成形施設		破碎施設A		破碎施設B	
			前期	今期	前期	今期	前期	今期
2020/6/4実施	騒音規制値	75dB	75	72	73	69	63	63
	振動規制値	70dB	60	61	64	64	52	64

早川RPF工場 臭気			脱臭排气施設		溜水式集塵施設	
			前期	今期	前期	今期
2020/6/8実施	臭気規制値	35以下	24	24	20	22

早川RPF工場 臭気（敷地境界）			敷地境界	
			前期	今期
2020/6/8実施	敷地境界規制値	15以下	10未満	10未満



今年度測定結果
基準値全てクリアしています！

※プラターン海老名工場：2021/1月 成型機入替に伴い振動・騒音・臭気測定を行ったため、今年度は2回実施となっています。
（ 成型機入替後のデータ）

プラターン海老名工場 騒音・振動			選別施設		破碎施設		成形施設	
			前期	今期	前期	今期	前期	今期
2020/5/25実施	騒音規制値	75 dB	66	64	64	69	61	62
	振動規制値	70 dB	53	55	52	62	67	64
2021/1/12実施	騒音規制値	75 dB	66	68	64	60	61	58
	振動規制値	70 dB	53	39	52	63	67	59

プラターン海老名工場 臭気			排出口①		排出口②		排出口③		排出口④	
			前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期
2020/5/25実施	臭気規制値	30以下	12未満	12未満	12未満	12未満	12未満	12未満	12未満	12未満
2021/1/12実施	臭気規制値	30以下	12未満	16	12未満	12	12未満	24	12未満	12未満

プラターン海老名工場 臭気（敷地境界）			敷地境界	
			前期	今期
2020/5/25実施	敷地境界規制値	15以下	10未満	10未満
2021/1/ 実施	敷地境界規制値	15以下	10未満	10未満



6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規については内容を確認し、以下の項目で変更点がありました。

○環境関連法規のチェック表

法令等名称	環境関連法規	主な要求内容	前回確認からの変更点	評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	許可の更新・変更	5年毎の許可更新（優良は7年）	神奈川県産業廃棄物処分業において、弊社海老名工場の成型機の入替を行った。また神奈川県産業廃棄物収集運搬業の許可期限が2021.5.31で満了の為、2月末に許可申請を行った。	
騒音規制法・振動規制法・悪臭規制法・神奈川県生活環境保全条例	騒音・振動・悪臭の規制基準の順守	指定地域内によりその場所ごとの規制基準値を超えないようにする。	騒音・振動・臭気についての基準はすべてクリアしました。また海老名工場については成型機入替に伴う環境測定を追加で実施しました。	
道路交通法	限度超過車両の通行許可など	車両の構造、車両に積載する荷物が特殊である場合、申請に基づいて通行を許可することが出来る。	大型トレーラーの通行許可更新について4月に更新が完了しました。	
フロン排出抑制法（旧フロン類回収破壊法）	引取証明書の写しによりフロン類の回収が確認されない第一種特定製品の引取り等は禁止	回収時引き取り証明書の写しを交付しなければならない	回収時・搬入時引き取り証明書がない場合、回収・処理は行わないように従業員に周知。社内リーフレットも作成しました。	

○その他の環境法令チェック

・グリーン購入法	✓	・綾瀬市火災防止条例	✓
・家電リサイクル法	✓	・海老名市環境保全条例	✓
・下水道法	✓	・海老名市廃棄物の減量化、資源化、適正処理等に関する条例	✓
・道路法	✓	・海老名市火災防止条例	✓
・道路運送車両法	✓	・労働安全衛生法	✓
・消防法	✓		
・電気事業法	✓		

2020年3月22日 確認



法令違反・訴訟等の有無については、問題ありません。

○環境法令以外の法改正・その対策

健康増進法 2021/4月～改正	施設の一定の場所を除き、喫煙が禁止	喫煙専用室の設置、喫煙可能な場所であることをの掲示が必要。	各工場で下記の対策を行なった。 ①喫煙室の設置 ②喫煙室があることを示す標識掲示	
---------------------	-------------------	-------------------------------	--	---

○外部からの環境に対する苦情や要望

（地域住民・顧客・自治体・消費者や社会の要望等も含む）

→今回は特に苦情・要望についてはありませんでした。



7. 取組結果とその評価、及び次年度の取組内容

環境活動計画の取組結果とその評価

取組結果とその評価を表12に示す。

○：取り組み、目標達成

△：取り組んだが目標未達成

×：取り組めなかった

表12 環境活動計画の取組結果とその評価

項目	取組結果の評価
受託可燃廃棄物中の焼却委託比率の低減	○ 中期計画の指標の見直しを行いました。吉岡RCでは混合廃棄物の中からRPF化とサーマル焼却向けに選別を行う。又、破碎・切断工程からはRPF化を推進する目標を立て実行している。中期計画目標は受託廃棄物からの焼却比率になっているため、不燃系が多くあり、搬入比率より取り組みが正しく評価できないことが判明したため中期目標数値の変更を行いました。 コロナウィルス感染拡大影響の中で搬入量は15%減少しましたが積極営業した廃棄量（繊維くず）の入荷量が、前年比で26%増を達成した。
化石燃料・電力由来のCO ₂ 排出量比の低減	○ 化石燃料由来のCO ₂ 排出量は、コロナウィルス感染拡大による廃棄物発生量の減少（約25%）により、総量として減少したが定期回収先などの一回収当たりの数量も減少したため、結果として、回収原単位当たりのCO ₂ 排出量は幾分増加しました。電力由来のCO ₂ 排出量は、可燃ごみの入荷量が減少（約15%）し、早川工場では、2台の破碎機のうち1台の減速機の損傷修復に半年間を要したためその間の生産性低下が影響しました。但し、海老名工場の成型機2台をモーター性能が高く回転軸の方向を変えたものに交換した結果、1月以降は、電気使用量が減りCO ₂ の排出量もほぼ▲10%削減に成功しました。
自社廃棄物排出量の低減	○ 社内から出る可燃ごみは、人員の増加に合わせて年々増加の傾向にあるが、ごみの分別の徹底により、RPF化原料が増加しており、焼却ごみは、総量も比率も低下している。
グリーン購入の推進	○ グリーン購入品に限らず環境負荷の少ないものを率先して購入している。2月には水素で動く燃料電池車を購入し温暖化ガス削減に貢献する企業としてアピールしていきたい

前回マネジメントレビューでの指摘事項に対する結果

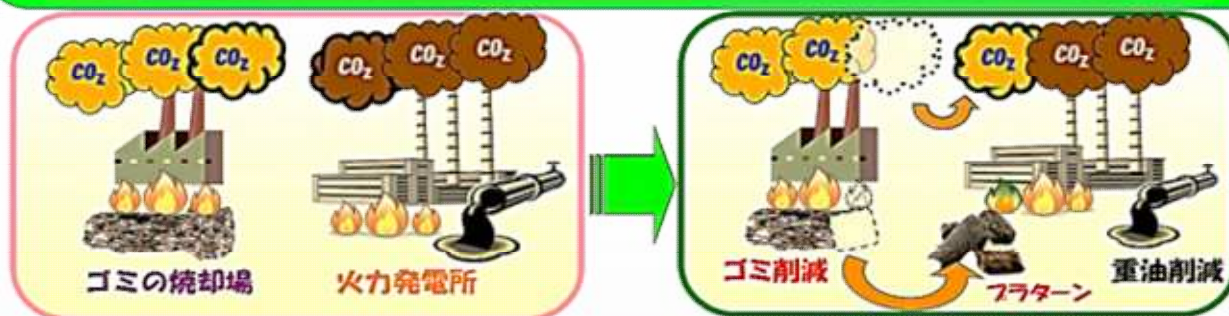
a)	焼却処分費が高騰する状況の中で、化石燃料の使用量削減とCO ₂ 発生削減効果が多大な「燃料化事業」の強みを再確認して、その情報発信やPR方法も検討し、また現状の作業方法等の内容や手順も検証改善して、燃料化の増大を図って下さい。	コロナ感染防止の影響だけではなく地元自治体の容器包装プラの再資源化委託が昨年終了し原料減少の穴埋めが後手になってしまった。RPFの需要は今後も見込めることから再度原料の確保に向けた取り組みを継続していかなければならない。廃棄物の受託は大手の処分業者から扱いが増加、ロコミでの増加も含め順調に推移した。搬入量増加に備え、前処理効率の改善を行うことが出来た。再度、燃料化事業の有効性を対外的にアピールできるように生産量増大に繋げていきたい
b)	再生資源事業は相場による売買が主体で、輸出が困難となり資源相場が下落している状況下です。資源化の処分手数料を請求できる廃棄物処分業の許可を活かして、売買が困難となっている下級グレードの資源化物の扱いも増やすことで、環境面でも経営面でも大きな成果が上がる事を期待します。	早川第2の強みを生かした営業展開ができ、資源化廃棄物の推進を、隣の早川工場と連携し取り組むことが出来成果に繋がった。事業所撤退などで廃棄する什器品の資源化では、シュレッダー向けで出荷すると処理費がかかる為、自社で解体し金属以外の可燃物を極力燃料化にすることが出来た。RPFの品質影響も加味しながら生産供給を行い利益に大きく貢献した。
c)	コロナ感染リスク対策で事業活動に支障が出ている状況をチャンスと捉え、普段では困難だった社員教育・人材育成と、作業手順書やマニュアルの改正にも継続的に取り組んで下さい。	各部署として課題を明確にして教育を実施することが出来た。業務課では再教育を含め現状把握するために先輩が横乗りしたり、テストを行ったりした取り組みが出来ました。又、作業手順書や指示書類も必要な改定等が行われた。

8. 「プラターンの森計画」実績報告
タズミが推進する再生固形燃料（RPF）化について

※「プラターン」は、タズミ製固形燃料の商品名です

プラターンの森計画

可燃性廃棄物燃料化事業の環境負荷低減効果の表現



排出抑制された量のCO₂を
吸収する杉林の面積で表現

節約した重油由来分のCO₂排出を抑制

- > プラターン1トで重油700ℓ節約
- > 重油700ℓから発生するCO₂は約2トン
- > プラターン1トで約2トンのCO₂排出抑制効果がある。

35年生杉
約200本



2,100m²



直接効果

【焼却ごみのうち1トンをプラターン(再生固形燃料)に加工すると】
その熱量は重油700ℓ分に相当します。上図の減った煙1つは、重油700ℓの燃焼で発生する約2トンのCO₂です。一方、1年間に2トンのCO₂を吸収固定する杉林の面積は約2,100m²で、その杉の本数は約200本になります。

つまり、焼却ごみから1トンのプラターンを製造・利用することは、2,100m²の杉林（200本の杉の木）を1年間保全したのと同じ効果がある事になります。この仮想の森を維持拡大することが「プラターンの森計画」であり、当社の燃料化事業の環境効果です。

2020年度の《プラターンの森》は

- ★プラターンの出荷実績：11,938トン（重油換算8345kℓ）^⑩
- ★排出抑制されたCO₂二酸化炭素は、23,769トン-CO₂
- ★プラターンの森の広さは、25km²、杉の本数では250万本でした

⑩ プラターンの森では、プラターン出荷(販売)実績数量で計算していますが、環境活動では生産数量を使用しているため、森の面積やCO₂排出抑制量等で、表現数値に違いが出ます。

9. その他、活動実績資料

9.1 各部門 防災訓練

吉岡リサイクルセンター

- 初期消火訓練 選別コンベアからの火災（2020/9月）
上司不在中に火災が発生したと想定し、現場メンバーのみでの消火訓練。



● 訓練後

消火用の水が確保しづらいという問題点が上がった。



緊急用防火水槽タンクを用意し災害時に備えました。

収集運搬業務課

- 火災訓練（2020/10月）



水消火器での消火訓練



● 訓練後

消火器の噴射時間が20秒と短く、的確・迅速な対応が必要なのが解った。

車両の形によって火災時の対応方法が違うということが理解できた。

- ・ パッカー車は荷室を開けてしまうと酸素が入り込み炎が広がってしまう。
- ・ 平ボディ車は風の影響で、走行すると火元が空気に触れやすくなり炎が大きくなってしまう。

今回の訓練を受け、社内での緊急対応時マニュアルの見直しを行い車両に合わせた適切な対応が出来るよう改善を図ります。

9. その他、活動実績資料

9.1 各部門 防災訓練

早川RPF工場・早川第二工場

● 初期消火合同訓練 (2020/11月)

火災発生時に、早川RPF工場と隣接する早川第二工場との、適切な対応と連携がとれるように、ピット火災を想定した消火訓練を行いました。



消火の様子



火災発生時の設備停止



早川第二と合流しての消火の様子



火元をクレーンで掴み容器へ燃え広がらないよう二次災害対策



● 訓練後

早川メンバーだけでなく、隣接する早川第二メンバーと連携して合同消火活動を行なうことで、それぞれの動きが確認でき、マニュアル化することが出来ました。

火災発生時の無線対応が遅れた場合のリスク軽減のため、噴射時間が長く容量が大きな移動式の大型消火器を、新たに2カ所設置しました。



大型消火器



事前に訓練イメージをシミュレーション

プラターン海老名工場

● 防火訓練座学 (2020/10月)

防火管理有資格者を講師として、火災発生時の流れ・二次災害・酸素欠乏症についての座学を行った。



● 地震避難訓練 (2021/3月)

前回の避難訓練で課題となっていた「二次災害防止」の機械停止手順を確実に実施できるよう訓練を行いました。



● 訓練後

緊急対応マニュアルに沿った機械停止手順が実施できました。

今後も火災等の二次災害が発生しないよう、継続して訓練を行って行きます。

9. その他、活動実績資料

9.2 各部門 教育訓練

収集運搬業務課

● 安全運転教育（2020/4月）

昨年度業務中の物損事故は内輪差、けつ振り、後方未確認等の、車両感覚を掴めていない事が原因で事故が見受けられました。テーマごとに訓練を実施しました。



自社駐車場にコースを作り実技を行いました。



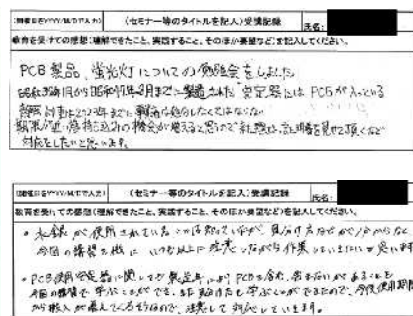
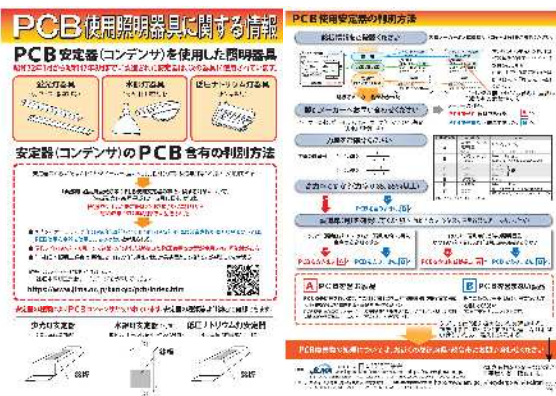
● 教育後

実技の結果、「大丈夫だろう」という意識で接触してしまうドライバーが見受けられた。改めてバックカメラを使つての安全確認・車両から降りて目視確認することの重要性を理解し今後も定期的に技能訓練を行い、物損事故・人身事故ゼロを目指します。

早川第二工場

● 水銀使用製品・PCB安定器の判別教育

自社処理できない「水銀使用のランプ」「PCB含有廃棄物」の見分け方について教育を行いました。



● 教育後

全員の共通認識として理解を深めることが出来ました。受入れ段階から混入を防ぐことが出来るようになり、「誤って受入れてしまった」というリスクも無くなりました。

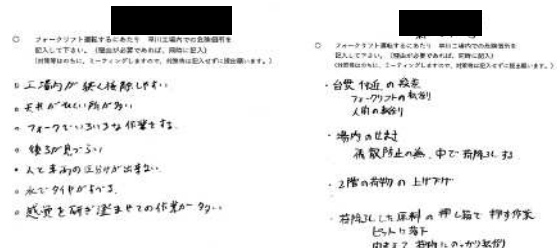
9. その他、活動実績資料

9.2 各部門 教育訓練

早川RPF工場

●フォークリフト重機の危険KYT（2020/11月）

安全衛生スローガン「重機は凶器を念頭に、死角の確認怠るな」から、フォークと作業者が接触事故に繋がる行為を想定しディスカッションを行いました。事例集を用いてどこが危険なのか考えることにより、理解することが出来ました。



●教育後

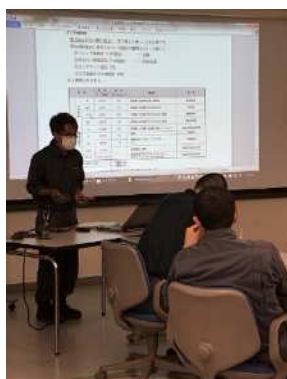
危険箇所の洗い出し

工場での危険作業を各自で洗い出しを行いました。「～だろう」と思い込んで行動しないことが大切。お互いに声を掛け合い、仲間を思う気持ちをしっかり持ち、日々の事故防止に取り組みます。

プラターン海老名工場

●自由研削といし特別教育（2020/8月）

新入社員に対して安全教育（グラインダーの使用・刃の交換等）を行う際、経験者を含め、再度安全教育を行った。



●教育後

グラインダー使用時の危険性を理解し、安全に作業することへの意識も高めることが出来ました。作業の資料を作成し、いつでも確認できるように冊子にまとめました。実務については熟練者がサポートを行い、経験の浅い者に対してのスキルアップを図ります。

2020年8月22日	自由研削といし特別教育	氏名: [REDACTED]
教育を受けての感想(理解できたこと、実践すること、そのほか要望など)を記入してください。		
自由研削といし特別教育 [REDACTED] (講師)が、詳しい説明を交えて、交換及び研削の業務は特別教育を受けた方がやるべきで、経験者が使っている道具が、目の前で危険な回転している状態の近くで使っているのは、誤りに使っている事故、労災の心配に、慎重に扱ってほしいという思いです。		

2020年8月22日	自由研削といし特別教育	氏名: [REDACTED]
教育を受けての感想(理解できたこと、実践すること、そのほか要望など)を記入してください。		
グラインダー使用時、保護具の使用は必要だが、手袋は、使用すると音がある事。この側面、外周の強度、保管方法など勉強になりました。教育を受け、グラインダーの危険性を学んだ。		



9. その他、活動実績資料

9.3 廃棄物処理委託先の施設見学

タズミでは毎年、廃棄物の二次処理委託先への施設見学を行っています。
 今期はコロナの影響もあり例年より少ない9施設の見学となりました。
 弊社から処理委託した廃棄物は、どの施設様も適正に処理していただいております。
 見学にご協力いただき、ありがとうございました。



株式会社クレハ環境（神奈川県川崎市）

2020/11月：施設見学

タズミでは週/数回の頻度で処理をお願いしています。
 場内のコロナ対策や設備管理もしっかりとされており、見習うべきことが多々ありました。



●工場内入口に体温計・消毒液設置



●事務所棟内にはAED、担架が設置



整理された場内



- 降ろし場所はきちんと整理されていました。
- 安全対策として、赤外線によるライン表示
 廃棄物の上にラインが見えるので、
 危険個所の確認がしやすくなっていました。

株式会社ミダック（静岡県）

2020/10月：施設見学

タズミでは年/数回の頻度で処理をお願いしています。
 工場内はきちんと整理されていました。
 マニフェストの管理・保管もしっかりされており、必要情報もすぐに見覧できるようになっていました。



整理された場内



●見学後には教育記録など、
 たくさんの社内資料も見せて頂きました。

※今回こちらの見学には勉強のために現場メンバーにも参加してもらいました。（下記参加者コメントあり）
 他の施設の場内・管理状態などを確認し、自分たちの工場にも活かすことのできる良い機会が持てました。

2020年 10月21日 ... ミダック 工場見学 ...
 本日の工場見学は、ミダック様へお邪魔しました。ミダック様の工場内は、非常に清潔で、安全対策が徹底されていると感じました。また、マニフェストの管理も非常に丁寧で、見やすいように整理されているのが印象的でした。ミダック様の取り組みを参考に、自分たちの工場にも活かしていきたいです。

2020年10月21日 ... ミダック 工場見学 ...
 本日の工場見学は、ミダック様へお邪魔しました。ミダック様の工場内は、非常に清潔で、安全対策が徹底されていると感じました。また、マニフェストの管理も非常に丁寧で、見やすいように整理されているのが印象的でした。ミダック様の取り組みを参考に、自分たちの工場にも活かしていきたいです。

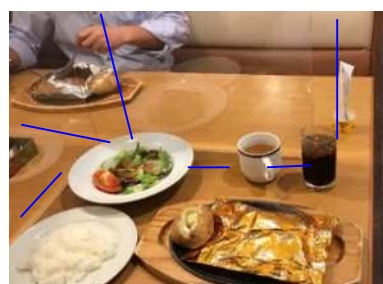
2020年10月21日 ... ミダック 工場見学 ...
 本日の工場見学は、ミダック様へお邪魔しました。ミダック様の工場内は、非常に清潔で、安全対策が徹底されていると感じました。また、マニフェストの管理も非常に丁寧で、見やすいように整理されているのが印象的でした。ミダック様の取り組みを参考に、自分たちの工場にも活かしていきたいです。

9. その他、活動実績資料

9.4 外部環境活動の実施



コロナ対策として！**コロナガード**を提案しました。



●今この、コロナ渦の中で「タズミとして何か出来る事はないか」…考えました。
そこで提案したものが飛沫感染防止板「コロナガード」です！
再生PET樹脂を使用しており、不要になったらタズミでリサイクル可能、環境に配慮した製品です。

●綾瀬市リサイクル協同組合、海老名市商工会議所などで使用されており、地域の団体にリサイクルを通して貢献することが出来ました。

**タズミはこれからも
環境に優しい企業を目指します！**



水素で走る車！**MIRAI**を導入しました。



- 水素で走る燃料電池車 MIRAI は、CO₂の排出がゼロ！！
- マフラーは付いておらず、車から排出されるのは「水」のみです！！

外部団体との環境活動

例年行っていた外部団体との活動は（不法投棄パトロール等）コロナ感染拡大防止のため中止となりました。次年度以降活動が再開されれば積極的に参加いたします。

9. その他、活動実績資料

9.4 外部環境活動の実施



環境関連寄附の実施

●タズミでは毎年、事業所のある自治体と県に環境保全・緑化保全に対して寄附を行っています。
今年度はかながわトラスト基金、綾瀬市、海老名市に寄附をいたしました。



神奈川県副知事の小板橋副知事と



綾瀬市 古塩綾瀬市長と



海老名市 内野海老名市長と

表 彰 ： 綾瀬市防火協会

●多年にわたる火災予防推進に関する功績を讃え、弊社従業員が表彰されました。

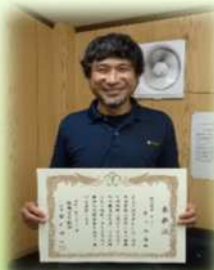


表 彰 ： 神奈川県産業資源循環協会

●毎年協会が行っている労働安全衛生標語コンクールにて、弊社従業員が優秀賞を受賞しました。

優秀賞： 注意し合える仲間と環境 築こう信頼 繋ごうゼロ災



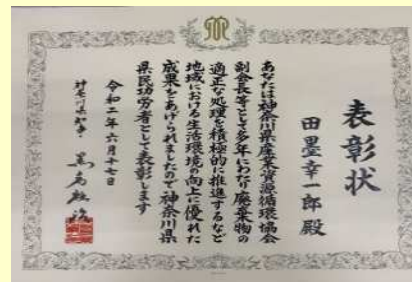
スローガンは海老名工場に設置されているLED看板に表示しています。

9. その他、活動実績資料

9.4 外部環境活動の実施

神奈川県県民功労者表彰 受賞（2020/6月）

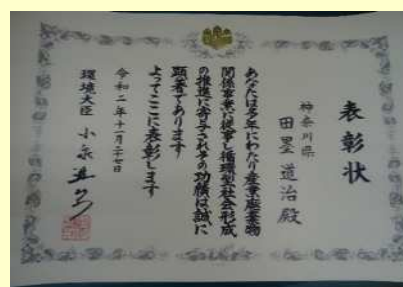
代表取締役 田墨幸一郎が、多年にわたり神奈川県産業資源循環協会副会長として廃棄物の適切な処理を積極的に推進するなど、地域における生活環境に優れた成果をあげたことにより表彰されました。



平成元年に社団法人神奈川県産業資源循環協会が設立され、平成29年に公益社団法人神奈川県産業資源循環協会として新たな一歩を踏み出し今日まで至ります。私は2007年から県央地区委員会の委員長並びに副会長職を拝命しました。最近注目されているSDGsでは「12 作る責任つかう責任」のターゲット5で「2030年までに廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する」と定義され、我々の業界はこれまでの環境保全と適正処理に加え、資源循環と発生削減の現実的な結果が求められています。そういった中、2011年の「環境大臣表彰」に続いて、「神奈川県県民功労者表彰」を受賞し関係する皆様と弊社社員に感謝申し上げます。

環境大臣賞 受賞（2020/11月）

専務取締役 田墨道治が、多年にわたり産業廃棄物関係事業に従事し、循環型社会形成の推進に寄与した功績により表彰されました。



この度、「環境大臣賞」を受賞できましたこと、大変うれしく身に余る光栄と存じます。この受賞は、私自身の努力だけではなく多くの皆さまの支えとご指導ご鞭撻のお陰と、多くの関係者様のご理解ご協力の賜物と感謝しております。この受賞を励みに、これからも循環型社会形成を担う一人として、私自身の行動を、気候変動やSDGsを意識した未来につなげる環境保全について、引き続きしっかりと取組み活動して参ります。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

1) 全体評価

今回の評価結果及び指示内容等

①評価結果

・今期は、環境目標はコロナ感染影響が想定より長引いてしまい事業への影響が大きくなってしまった。焼却比率の低減は、入荷量が減少する中、処理困難物である廃棄などの燃料化で達成することが出来た。RPF生産量1ト当りのCO₂排出量も早川工場設備損傷影響はあったものの今年1月に海老名工場成形機入替で今後は削減できる見通しがついた。

・翌38期は、E A21・2017年度版産業廃棄物業者向けガイドラインの運用が確実に実施できるようなデータシステムの修正を行い、各部署の取り組みを提示して継続的に評価し改善に繋がれるようにして下さい。改めて環境経営方針を理解し、事業を拡大をすることで環境負荷の低減につなげるシステムを構築して参ります。

・2035年までに廃プラスチック100%リサイクル、2050年までに実質カーボンニュートラルの実現と日本もパリ協定実現に向けた社会変革が起こっており、事業環境は大変厳しい状況です。またコロナ感染による経済活動の低迷が世界的に問題となっています。このような課題が山積する状況をチャンスとして捉え、昨年に引き続き次のような事を念頭に各部門での取り組みを深化して、事業の発展と環境負荷低減の推進を図って頂きますようお願い致します。

②指示内容

- a) 焼却処分費が高騰する状況の中で、化石燃料の使用量削減とCO₂発生削減効果が多大な「燃料化事業」の強みを再確認して、その情報発信やPR方法も検討し、また現状の作業方法等の内容や手順も検証改善して、燃料化の増大を図って下さい。
- b) 再生資源事業は相場による売買が主体で、輸出が困難となり資源相場が下落している状況下です。資源化の処分手数料を請求できる廃棄物処分量の許可を活かして、売買が困難となっている下級グレードの資源化物の扱いも増やすことで、環境面でも経営面でも大きな成果が上がる事を期待します。
- c) コロナ感染リスク対策で事業活動に支障が出ている状況をチャンスと捉え、普段では困難だった社員教育・人材育成と、作業手順書やマニュアルの改正にも継続的に取り組んで下さい。

令和3年3月31日

2) 見直し結果

- | | |
|----------------------------|-------|
| ① 環境方針の変更の必要性 | ・・・なし |
| ② 環境目標の変更の必要性 | ・・・なし |
| ③ 環境活動計画及び環境経営システム等の変更の必要性 | ・・・なし |

このレポートに関するお問い合わせはこちら

電話：0467-77-1847 FAX：0467-77-1936 HP <http://www.tazumi.jp/>